

## 議 事 録

- 1 会議の名称 平成 28 年度第 1 回水戸市都市交通戦略会議
- 2 開催日時 平成 28 年 7 月 25 日（月） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 45 分まで
- 3 開催場所 水戸芸術館 会議場
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員  
(名簿順) 茨城大学工学部都市システム工学科 金 利昭  
茨城大学工学部都市システム工学科 熊澤 貴之  
東日本旅客鉄道（株）水戸支社総務部企画室 小川 郁夫（代理）  
鹿島臨海鉄道（株） 鈴木 哲也  
茨城交通（株） 任田 正史  
関東鉄道（株） 本多 佳夫（代理）  
関鉄グリーンバス（株） 長津 博樹  
ジェイアールバス関東（株）水戸支店 佐藤 亮（代理）  
（一社）茨城県バス協会 澤島 政志  
（一社）茨城県ハイヤー・タクシー協会 鬼澤 秀通  
水戸市住みよいまちづくり推進協議会 大関 茂  
公募市民 米倉 彩乃  
公募市民 根本 貴彬  
国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 高森 治  
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 飯塚 正芳  
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 羽生 真人（代理）  
茨城県企画部企画課 仲村 堯之（代理）  
茨城県土木部水戸土木事務所 橋本 義彦  
茨城県土木部都市局都市計画課 田中 郷三（代理）  
茨城県警察本部水戸警察署 仁瓶 正  
水戸市市長公室 三宅 正人  
水戸市建設部 猿田 佳三  
水戸市都市計画部 村上 晴信  
水戸商工会議所 大久保 博之
- ※代理出席 6 名
- (2) 委託事業者 【一般財団法人計量計画研究所】  
主任研究員 秋元 伸裕，研究員 高砂子 浩司，研究員 稲原 宏
- (3) 事務局 【水戸市市長公室交通政策課】  
課長 須藤 文彦，課長補佐兼係長 大嶋 実，主幹 小林 健典，  
主幹 大津 真奈美

## 5 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 議 事
  - 報告第1号 平成27年度事業報告
  - 報告第2号 平成27年度決算
  - 議案第1号 役員の改選
- (3) 水戸市公共交通基本計画について
- (4) 水戸市地域公共交通再編実施計画の策定について
- (5) その他
- (6) 閉 会

## 6 配布資料

- (1) 平成28年度第1回水戸市都市交通戦略会議資料
- (2) 資料1 再編実施計画策定業務の進め方, 参考事例紹介について
- (3) スロー・モビリティによる街づくり

## 7 内容

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>※水戸市都市交通戦略会議規約第7条第1項に基づき、会長が進行を務めた。</p>  |
| 会長  | <p><b>1 開 会</b></p> <p>【会長あいさつ】</p> <p>本日は、平成28年度第1回目の交通会議ですが、交通会議は今年度で3年目になります。1年目はいろいろと勉強しながら、交通に関する課題を洗い出して、重点施策を決定しました。2年目の昨年度は、データを収集しながら、分析を行い、公共交通基本計画を策定しました。今年度はその計画に基づいて具体的な事業に取り組んでいくこととなります。今年度もよろしくお願ひします。</p> |
| 出席者 | <p>[今年度初めての会議となるため、自己紹介]</p>  |
| 会長  | <p>はじめに、本日の出席者数について、事務局から報告をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>昨年度までは定数が25名となっておりますが、昨年度末をもちまして、___委員が都合により辞職しておりますので、本日は、定数24名中24名の委員の皆様に出席又は代理出席をいただいております。</p>   |
| 会長  | <p>事務局報告のとおり、出席者数が過半数となっているため、水戸市都市交通戦略会議規約第7条第2項の規定を満たし、本会議は成立しています。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>次に、本日の会議について、会議の内容から、冒頭から終了時まで公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>[異議なしの声]</p>   |
| 会長  | <p>異議なしとのことなので、本日の会議は公開とします。</p> <p>また、本日の議事録署名人については、本人出席の委員を指名することとし、名簿の順に従い、____委員、____委員を指名させていただきます。</p>  |
|     | <p><b>2 議 事</b></p>  |
|     | <p><b>報告第1号 平成27年度事業報告及び</b><br/><b>報告第2号 平成27年度決算</b></p>   |
| 会長  | <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>まず、報告第1号「平成27年度事業報告」及び報告第2号「平成27年度決算」については、関連する内容なので、一括してご審議いただきます。事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>[会議資料1～9ページに基づき、事務局から一括して説明]</p>  |
| 会長  | <p>ただいまの説明について、意見・質問等がありますか。</p> <p>質問がないようなので、報告第1号及び報告第2号については、承認してよろしいでしょうか。</p>                            |
| 委員  | <p>[異議なしの声]</p>  |
| 会長  | <p>異議なしとのことなので、承認することとします。</p>   |
|     | <p><b>議案第1号 役員の改選</b></p>  |
| 会長  | <p>次に、議案第1号「役員の改選」について、事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>[会議資料10, 11ページに基づき、事務局から説明]</p>   |
| 会長  | <p>ただいま、事務局から説明がありましたが、いかがいたしましょうか。</p> <p>皆様からのご提案がなければ、事務局から案を提示していただきたいと思います</p>                            |

|     |  |
|-----|--|
|     | が、よろしいでしょうか。   |
| 委員  | [異議なしの声]   |
| 会長  | それでは、事務局の考えはいかがですか。  |
| 事務局 | 事務局といたしましては、現行の役員全員の再任をお願いしたいと考えております。   |
| 会長  | 事務局から再任という案が出ましたが、いかがでしょうか。  |
| 委員  | [異議なしの声]   |
| 会長  | それでは、役員につきましては、全員再任ということで進めさせていただきたいと思っております。  |
|     | <b>3 水戸市公共交通基本計画について</b>   |
| 会長  | 議事は以上となります。<br>次に、次第の3「水戸市公共交通基本計画」及び4「水戸市地域公共交通再編実施計画の策定」について、一括して説明をいただきたいと思っております。それでは、事務局及び計量計画研究所から説明をお願いします。     |
| 事務局 | [会議資料 12～15 ページ及び資料 1 「再編実施計画策定業務の進め方、参考事例紹介について」に基づき、事務局及び計量計画研究所から説明]  |
|     | <b>【意見・質問等】</b>  |
| 会長  | 私から一つお願いしておきたいのは、今年度、公共交通マップの作成や路線バス体験学習事業を実施することになっていますが、事業の効果検証を行い、後で報告できるようにしておいてください。<br>ただいまの説明について、意見・質問等がありますか。 |
| 委員  | 会議資料 15 ページの「(1) 国の補助制度の活用」について、再編計画策定に係る補助金として「5,100,000 円」の交付決定を受けたとありますが、その用途を教えてください。                              |
| 事務局 | 会議資料 15 ページの(2)に「水戸市地域公共交通再編実施計画策定業務委託の実   |

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>施」とありますが、その委託料 10,098,000 円に国補助金 5,100,000 円を充当いたします。残りの約 5,000,000 円は、水戸市が負担いたします。</p>  |
| 会長      | <p>参考事例として紹介のあった八戸市の取組は、非常に参考になるものという理解でよろしいですか。</p>  |
| 計量計画研究所 | <p>上手くいっている事例なので、参考にできるところが多いと考えております。</p>  |
| 会長      | <p>事務局や計量計画研究所は、実際に現地で調査研究を行っているのですか。</p>   |
| 事務局     | <p>昨年度、実際に八戸市を訪問し、担当者から話を伺うなど、調査研究を実施しております。</p>  |
| 会長      | <p>八戸市が大変参考になる事例ということであれば、都合がつく委員で視察に行ってみてもいいのではないかと思います。</p> <p>他にご意見等がありますか。</p>  |
| 委員      | <p>個別協議ということで、6月下旬に水戸市からヒアリングを受けました。水戸市からの説明を聞いて、各バス事業者それぞれに考えがあると思います。今後の進め方としては、これからもバス事業者との個別協議を定期的実施していくということでしたが、全バス事業者が集まって協議する機会も必要だと思います。</p> <p>八戸市の事例につきましては、八戸市内は民間のバスだけでなく、市営のバスが走っています。水戸市内はすべて民間のバスとなっています。市営だからできること、民間では難しいことがあると思うので、その辺を考慮した上で慎重に進めてほしいと思います。</p> |
| 会長      | <p>八戸市の市営バスの規模はどれくらいなのですか。</p>  |
| 計量計画研究所 | <p>資料1の9ページにバスの利用者数のグラフを掲載しておりますが、市営バスの利用者が全体の半分以上となっております。</p>   |
| 会長      | <p>そのような違いがあるので、八戸市と水戸市では取り組み方が少し違って来るかもしれません。</p> <p>バス事業者との調整については、個別での協議や全体での協議など、やり方はいろいろあると思います。</p>   |
| 事務局     | <p>今後の進め方としましては、個別協議だけではなく、専門部会での協議や、必要に応じてバス事業者による協議の場を設けるなどして、慎重に進めていきたいと考えております。</p>   |

|         |  |
|---------|--|
| 会長      | <p>これからはより具体的な協議となり、バス事業者間の合意形成を図っていく必要があると思いますので、きちんと協議の場を設けて進めてほしいと思います。</p> <p>他にご意見等がありますか。</p>  |
| 委員      | <p>バス事業者による協議は重要であると考えています。個別協議を通して、各バス事業者が抱えている課題等を整理してもらい、それをたたき台にして、バス事業者による協議を行うのがよいのではないかと思います。ただ、1回集まるだけでは合意形成はできないので、何回か集まることを考慮して、1年間のスケジュールを立ててほしいと思います。</p> <p>また、バス路線の再編において一つのポイントとなるのが、交通結節点での乗り継ぎですが、乗り継ぎをさせるためのハードルは何なのか、どうすればそのハードルを下げることができるのかをしっかりと検証する必要があると思います。乗り継ぎのメリットを明確にする必要があると思います。</p> |
| 会長      | <p>茨城運輸支局さんから何かご意見等がありますか。</p>   |
| 委員      | <p>資料1の9ページのグラフに、「23～26」、「23'～26'」とありますが、この違いを教えてください。</p>   |
| 計量計画研究所 | <p>「'」が付いているものは、これまでの減少トレンドをもとに推計した比較のための参考値であり、「」が付いていないものは、実際の数値となっております。</p>  |
| 委員      | <p>資料1の2ページの「イ 新たな移動手段の導入の方針の検討」について、「実態把握・事例収集」とありますが、どのようなことを実施するのですか。</p>   |
| 計量計画研究所 | <p>実態把握では、公共交通を利用できない地域がどこにあるのか、そこにどのような方が住んでいるのか、その方がどこに行きたいのか等を把握する考えです。また、そのような地域の移動手段を確保するため、乗合タクシーやデマンド交通など、全国で様々な取組が行われているので、水戸市でどのような取組ができるのかを検討する際の参考とするために事例収集を行う考えです。</p>  |
| 委員      | <p>そうすると、資料1の1ページの「実施プログラム」について、「⑥新たな移動手段の導入」の実施地域に「モデル地区」とありますが、これからモデル地区を決めていくということでしょうか。</p>  |
| 事務局     | <p>「⑥新たな移動手段の導入」につきまして、平成28年度から3年間は、モデル地区を選定して試験的に実施する期間となっております。水戸市において、新たな移動手段を導入するに当たっては、自治体直営で新たな移動手段を実施するより</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>は、既存の交通資源をいかに活用していくのかということが重要になってきます。例えば、タクシーの活用が考えられます。現在、国においてタクシーのあり方の検討が進められていると聞いており、その中で、平日の昼間に低廉な運賃でタクシーを利用することが可能になるのであれば、その社会実験をモデル地区において実施していきたいと考えております。まだ具体化には至っておりませんが、公共交通の空白地区が存在する地区の中には、そのような社会実験を実施するというのであれば、モデル地区にしてほしいと言っている地区も実際に存在しています。</p> |
| 委員  | <p>そのような公共交通空白地区には、高齢者だけでなく、例えば、自動車を利用できない主婦の方などもいると思いますが、そのような方も対象に新たな移動手段の導入を検討しているのでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>エリアⅢとしている郊外部で、高齢化が進行している地域での導入を中心に検討していきたいと考えておりますが、エリアⅢでの導入に限るということではありません。場合によっては、中心市街地の中であっても、よりきめ細かな移動手段が必要であるということになるかもしれませんので、その際は、高齢化が進行している郊外部の地域に限らず検討していくことになります。</p>   |
| 委員  | <p>国の「新しいタクシーのあり方検討会」では、閑散時間帯におけるタクシーの活用ということで、秋頃から実証実験の実施を検討していますが、もし水戸市内に実証実験を実施しても良いという地域があれば、ハイヤー・タクシー協会も、その地域に入って直接ニーズを把握したいと考えています。</p>  |
| 事務局 | <p>そのような機会を設けることについては、水戸市も積極的に参加、協力したいと考えております。先日、新たに着任した茨城運輸支局長は、着任する前はタクシーに関する業務を担当していたということで、タクシーに関する情報が入りやすくなっていると思います。ハイヤー・タクシー協会と連携しながら、水戸市ならではの新たな移動手段を検討していきたいと考えております。</p>  |
| 会長  | <p>路線バスだけではカバーできないところは、タクシーを有効活用していく必要があるかと思いますので、意見交換の場を設けながら進めてほしいと思います。</p>   |
| 委員  | <p>先日、水戸市中心市街地活性化基本計画が国の大臣認定を受けました。商工会議所では、コンパクトシティ、まちなか居住、起業家の育成という柱を立てて、まちづくり会社を設立し、事業を推進していくことを基本方針として決定しています。今年の10月に役員改選があり、その頃から動きが出てくると思います。中心市街地の活性化とともに、公共交通をはじめとする交通政策にも協力して取り組んでいく考えです。</p> <p>また、水戸出身の全国で活躍している経済人等の集まりがあり、その中でも、交</p>                      |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>通、起業家育成、空きビル再生等、中心市街地の活性化について踏み込んだ議論がなされています。</p>   |
| 会長  | <p>中心市街地の活性化に向けた動きがあるということで、これらをどのように取りまとめていくかということになりますが、水戸市では、まちづくりについて、新しい動き等がありますか。</p>  |
| 委員  | <p>さきほど話があったように、水戸市中心市街地活性化基本計画につきましては、今年の6月に国の大臣認定を受けました。これに基づき、中心市街地の活性化に係る諸施策を推進していきます。これらは、水戸市第6次総合計画にも位置付けられています。また、水戸市第6次総合計画に基づき、コンパクトなまちづくりに向けた取組など、諸施策を推進していきます。まち・ひと・しごと創生総合戦略も策定しており、都市計画部門では、立地適正化計画の策定を進めております。中心市街地の活性化、コンパクトなまちづくりは、水戸市において重点的に力を入れる施策となっておりますので、関係部署と調整しながら実施していきます。</p> |
| 会長  | <p>動きがたくさん出てきたということで、非常に良いことだと思います。一方で、それらをコントロールしながらまとめていくことは大変なことだと思いますので、水戸市が中心となって、意見交換の場を設けながら合意形成を図ってください。</p> <p>茨城県さんでは、新しい動き等がありますか。</p>  |
| 委員  | <p>茨城県では、フィーダーに対する補助事業や公共交通空白地域における自家用有償運送、スクールバス・企業バスの乗合バス化に対する補助事業を行っているのですが、是非活用していただきたいと思います。また、県内を県北、県西、県南、鹿行の四地域に分けて、広域的な公共交通の形成について話を進めているところです。県央地域については、水戸市を中心に、定住自立圏構想において、公共交通の広域的な取組を進めていくと聞いているので、これから密に協議をさせてほしいと考えています。</p>   |
| 会長  | <p>他にご意見等がありますか。</p>   |
| 委員  | <p>資料1の1ページの「実施プログラム」において、今年度から本格実施となっている「⑫バス停留所の見直し」について、今年度の進め方を教えてください。</p>   |
| 事務局 | <p>バス路線の再編に向け、今年度から再編実施計画の策定に着手し、第1次再編、第2次再編に取り組んでいくこととしております。再編実施計画の策定作業に並行してバス停留所の見直しも進めていく考えであるため、今年度から本格実施としております。すでに、観光施設との連携という観点から、バス事業者の努力により、バス停留所「末広町三丁目」の名称を「保和苑入口」に変更しております。</p>   |



|     |   |
|-----|---|
|     | <b>副会長からミニレクチャー</b>   |
| 会長  | <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、最後に、これから公共交通基本計画に基づき、具体的に事業を実施する際の参考として、副会長からミニレクチャーをいただきたいと思いません。それでは、よろしくをお願いします。</p>  |
| 副会長 | <p>[会議資料「スロー・モビリティによる街づくり」に基づき、副会長から説明]</p> <p><b>【意見・質問等】</b></p>  |
| 会長  | <p>今の説明から、デザインの力は重要であることが分かります。水戸市でも都市のデザインをコントロールすることについて考えていただきたいと思いません。それは、そこに人が集まってくることに繋がると思いません。</p>  |
| 委員  | <p>私は、デザインスクールを運営していますが、その卒業生がひたち海浜公園に就職し、ネモフィラやコキアを世界中に発信するようになりました。1人のデザイナーの力により、海浜公園は世界中の人が訪れたい場所となりました。これもデザインの力だと思います。</p>   |
| 委員  | <p>自動車がないから仕方なくバスに乗るのではなく、自ら選択してバスに乗る、バスに乗ることがカッコいいという状況を作り出していくために、移動におけるおもてなしは大事なことです。</p> <p>高機能な車両を導入することは、費用もかかるので、すぐにできることではないかもしれませんが、導入に向けて取り組んでいってほしいと思いません。新しい車両でも、例えばノンステップバスだと、窓は大きいのですが、車両の後部は座席が高くなっているため、窓枠が目の高さにあり、外の景色が見えなくなることがあります。外の景色が見えることは大事だと思います。</p> <p>また、デザインや車両だけでなく、渋滞や道路の路面状況が改善されると、より快適な移動ができると思いません。以前よりかなり良くなってきていますが、引き続き、運転手の質、サービスを向上していくことも必要だと思います。多方面から移動のおもてなしを提供できるまちにしていくことが大事だと思います。</p> |
| 会長  | <p>本日の会議は以上となります。進行を事務局にお返しします。</p>   |

|  |              |
|--|--------------|
|  | <b>4 閉 会</b> |
|--|--------------|

[閉会のあいさつ]